

# 市議会だより



## 新たな15名の市民の代表

### 平成25年12月定例会一覧

開会 12月10日  
閉会 12月25日  
会期16日間

○本会議（主な内容）

10日 会期の決定

提案理由説明

補足説明

16日 代表質問・一般質問

17日 一般質問

議案の委員会付託

25日 委員長報告・質疑・討論・採決

議員提出議案

提案理由説明・質疑・討論・採決

議員派遣

閉会中の継続審査

○委員会

10・16・17・20・25日 議会運営委員会

18日 総務文教委員会

19日 民生環境委員会

20日 産業建設委員会

○議案の審議結果

予算（原案可決） 4件

条例（原案可決） 27件

その他（原案可決） 6件

議員提出（原案可決） 6件

議員提出（原案否決） 1件

合計 44件

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。

# 議会構成が決定！ 新体制で12月定例会に臨む！

平成25年 第5回臨時会

一般選挙後初の議会となる「平成25年第5回臨時会」が11月29日に開催され、市議会を代表する議長の選出をはじめ、議会活動の体制が決まりました。

議長に岩城晶巳氏

副議長に原明氏



岩城議長



原副議長

一般選挙後初めて招集された議会であるため、地方自治法の規定に基づき年長の中川議員が臨時議長となり議事が進められました。

最初に議長選挙が行われ、指名推薦により岩城晶巳議員が議長に当選。続いて、新議長の議事進行により議席の決定、会期を1日として副議長の選挙を行い、指名推薦により原明議員が副議長に当選されました。次に議会運営委員会と総務文教、民生環境、産業建設の各常任委員会の委員の選出を行いました。また、北陸新幹線の開業に伴う並行在来線等の問題調査を目的とした

「並行在来線等問題特別委員会」、公共施設のあり方の調査研究を目的とした「公共施設のあり方検討特別委員会」及び魚津市鹿熊地内の養鶏場建設に係る調査研究を目的とした「魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会」の設置及び委員の選出を行いました。

さらに、富山地区広域圏事務組合、滑川中新川地区広域情報事務組合、富山県東部消防組合、富山地域衛生組合の議会議員を選出するとともに、農業委員会委員等各種の委員を決めました。議会構成を決めた後に、市長提出議案1件の審議を行い、市監査委員に中川勲氏の選任に同意し、臨時会を閉会としました。

## 新しい

### 議会構成

#### ◆議会運営委員会

- ◎委員長 高橋 久光
- ◎副委員長 水野 達夫
- ◎委員 古沢 利之
- ◎委員 中川 勲
- ◎委員 浦田 竹昭

#### ◆総務文教委員会

- ◎高木 悦子
- ◎古沢 利之
- ◎青山 幸生
- ◎竹原 正人
- ◎谷川 伸治
- ◎水野 達夫
- ◎原 明
- ◎岩城 晶巳
- ◎浦田 竹昭
- ◎開田 晃江

#### ◆民生環境委員会

- ◎中島 勲
- ◎開田 晃江
- ◎角川 真人
- ◎竹原 正人
- ◎尾崎 照雄
- ◎高木 悦子
- ◎岩城 晶巳
- ◎古沢 利之
- ◎中川 勲
- ◎高橋 久光

#### ◆産業建設委員会

- ◎水野 達夫
- ◎浦田 竹昭
- ◎青山 幸生
- ◎角川 真人
- ◎尾崎 照雄
- ◎谷川 伸治
- ◎原 明
- ◎中島 勲
- ◎中川 勲
- ◎高橋 久光

#### ◆並行在来線等問題特別委員会

- ◎開田 晃江
- ◎古沢 利之
- ◎青山 幸生
- ◎尾崎 照雄
- ◎岩城 晶巳
- ◎浦田 竹昭
- ◎高橋 久光

#### ◆公共施設のあり方検討特別委員会

- ◎中川 勲
- ◎原 明
- ◎角川 真人
- ◎竹原 正人
- ◎谷川 伸治
- ◎水野 達夫
- ◎高木 悦子
- ◎中島 勲

#### ◆魚津市鹿熊地内の養鶏場建設検討特別委員会

- ◎岩城 晶巳
- ◎原 明

青山 幸生 角川 真人  
 竹原 正人 尾崎 照雄  
 谷川 伸治 水野 達夫  
 高木 悦子 中島 勲  
 古沢 利之 開田 晃江  
 中川 勲 高橋 久光

★各組合議会議員

・富山地区広域圏事務組合  
 岩城 晶巳 開田 晃江  
 ・滑川中新川地区  
 広域情報事務組合

・富山県東部消防組合  
 中島 勲 中川 勲  
 尾崎 照雄

・富山地域衛生組合  
 水野 達夫 高木 悦子  
 岩城 晶巳  
 中島 勲 開田 晃江

本会議

◇12月10日に本会議を開き、まず会期を25日までの16日間と決めた後に、平成25年度一般会計補正予算をはじめとした予算・条例等の市長提出議案35件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。

◇16日、17日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般

12月定例会

市議会12月定例会は、12月10日から25日までの16日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成25年度一般会計補正予算をはじめ、条例等の市長提出議案35件、議員提出議案7件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計44件です。

審議の結果、市長提出議案の35件は原案どおり可決されました。また、議員提出議案の6件は原案どおり可決されましたが、1件については原案否決となり、議員派遣及び閉会中の継続審査は可決されました。

に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の25日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれ付託議案の審査結果等の報告があり、採決の結果いずれも委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。その後、議員提出議案7件の提案理由説明と採決を行い、6件が可決、1件が否決されました。

続いて議員派遣及び議会運営委員会の閉会中の継続審査を議決した後、市長の政治資金規正法に抵触する可能性についての緊急質問がありました。市長から、「議会には既

に回答してある」との答弁を受け、12月定例会を閉会といたしました。

日誌

- 25年11月
- 5日 並行在来線に関する 4市2町要望（富山市）
- 11日 朝日滑川間国道・バイパス 建設促進期成同盟会要望（新潟県、東京都）
- 14日 徳島県吉野川市議会より 行政視察
- 28日 全員協議会
- 29日 全員協議会
- 第5回臨時会

一般代表質問

12月定例会では13名の議員が質問を行い、39項目について市当局の見解を求めました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

（すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬までに、市立図書館に配付する予定です。）  
 また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。

※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

- 12月 3日 議会運営委員会
- 5日 産業建設委員会協議会 定例議員協議会
- 6日 富山県東部消防組合議会 臨時会（魚津市）
- 10～25日 12月定例会
- 25日 議会報編集委員会
- 26年1月 10日 定例議員協議会
- 17日 議会報編集委員会
- 21日 並行在来線に関する4市 2町議会意見交換会（上越市）
- 23日 公共施設のあり方検討 特別委員会協議会
- 23日 議会報編集委員会

代表質問



- 1 平成26年度の予算編成について問う
- 2 魚津市住宅密集地火災を受けて問う
- 3 上田市長の視察・研修会への参加について問う
- 4 上田市長の政治姿勢について

(会派「一心クラブ」) 高木悦子議員

Q 新年度予算編成において、市長選を控えておりいわゆる「骨格予算」の形態をとるべきと考えるが、基本的な考え方は。

A 上田市長 新年度予算編成は、限られた財源を重点的、効率的に配分するよう努め、基本的に継続的な事業や義務的経費を中心とした骨格予算に近いものになる。

Q 中心市街地では、火災発生時に延焼を免れることが困難である。老朽空き家を適正に取り壊すことは、延焼を食い止めることにつながる。「空き家対策条例」制定など、空き家の取り壊し促進施策を導入すべきではないか。

A 碓井産業民生部長 県では危険老朽空き家の解体基準ガイドラインの年度内の作成を進めている。先進自治体の情報を

収集するほか、国、県の動向を注視して、旧市街地活性化推進検討委員会で、空き家対策条例の策定内容について検討する。

Q 市長は種々の研修会、視察に参加をしてきたが、視察内容は共有し、広く活用されるべきと考

える。市長から報告書が提出され、市役所内部で情報の共有が図られているか。

A 小幡総務部長 市長自ら報告という形で文書は残していないが、会場配付資料をメールやコピーにて各課に配付して、職員全体でその研修の成果等の情報を共有している。

Q 4年前の選挙運動費用収支報告書の寄附者の中に入札参加法人があるという新聞報道を受け、後日、報告書を訂正された。

A 上田市長 私の陣営は、慣れない者を会計責任者にして漏れがあった。わかつている人なら載せないで始末をしたと思う。正直に答えたためこういうことになった。選挙は政治資金規正法を遵守していかなければいけない。

Q これまで市長はTPPに反対の態度を示してきた。9月21日付の新聞アンケートで、影響についてどちらともいえないと回答した。見解を変えたのか。

A 上田市長 アンケートではどんな影響を与えるかと漠然と問われたので「どちらともいえない」と答えた。滑川の産業関係を見てもマイナスで、反対の立場は変わらない。

Q 政府・自民党は米の生産調整に参加する農家に交付してきた直接支払交付金を半減させ5年後には打ち切るとし、大規模農家や生産組織ほど影響が大きく関係者には戸惑いと不安が広がっている。

A 碓井産業民生部長 戸惑いと不安が大きいのは十分認識している。国

から受けられなくなるのが心配されている。影響を受ける児童・生徒はいないか。また、就学援助を受けられる所得を、生活保護基準の1.0倍としている認定基準を見直すべきではないか。

Q 折田教育次長 試算したところ、2世帯で援助を受けられない結果となった。新年度の運用は、就学援助への影響が出ないよう、引き下げ前の生活保護基準の1.0倍未満で認定を行いたい。

Q 就学援助の対象にクラブ活動費、PTA会費、生徒会費を含めるべきだ。

A 折田教育次長 新年度に向け、他市町村の状況を踏まえて検討したい。現在15市町村のうち3つとも援助が4市町村、2つが3市町村ある。

代表質問



- 1 TPPについて
- 2 米の生産調整見直しについて
- 3 就学援助について

(会派「日本共産党議員団」) 古沢利之議員

は、平均的な集落をモデルとして、所得が増えるという試算を示しているが、米価が下がらず、飼料米への支援制度の最大限の活用など高い前提条件となっている。本市への影響は制度の詳細を確認する必要はあるが、大規模経営体ほど影響が生じるものと考ええる。

Q 主食である米の需給や価格の安定は市場任せではなく、国が責任を持つべきではないか。

A 碓井産業民生部長 米の需要量は年々減少している。米作りが中心の本市にとって大きな問題だ。国が責任を持つべきとの考えには、そうあってほしいと思っている。

Q 8月からの生活保護基準引き下げにより、これまで就学援助を受けられた児童・生徒が、新年度

### 一般質問



中島 勲議員

#### 市街地の活性化に対する対応について

**Q**平成25年度で「まちなか再生事業」が終了するが、事業の評価と今後について当局の考えは。

**A**砂田建設部長 「まちなか再生事業」の平成20年から平成24年度末までの5年間の実績については、住宅取得事業36件、危険老朽空き家の除却7件、市街地空き家空き地支援については平成25年度末までに4件の実績があり、事業についてはおおむね評価できると考えており、今後も旧市街地活性化推進検討委員会等で事業の内容を精査し継続していきたい。

**Q**市街地空き地空き家活用支援事業は、空き家を上手に利用するという趣旨からいけば、小売飲食ということも含め、業種の対象を広げて、まちの中の再生に寄与するもの

であれば取り上げていくべきと思うが。

**A**砂田建設部長 本要綱の趣旨は空き地・空き家を活用した市街地の活性化であり、まちのふれあい創出の業種についてはできるだけ支援していきたいと考えており、拡大については必要に応じて要綱を改正していきたい。

**Q**旧市街地活性化推進検討委員会はどのようなメンバーで発足しているのか。

**A**児島まちづくり課長 メンバーは3部長と商工水産課長、税務課長、建設課長、まちづくり課のメンバーが入っている。

**Q**この再生事業で行政視察が多いが、視察の内容は。

**A**砂田建設部長 県外の市町村議員、職員の「まちなか再生事業」特に危険老朽空き家対策事業に

ついての視察がほとんどであり、質問は跡地の利用、事業が補助か単独か、寄附について同意がいただけるかの3点で、特に大きいのが跡地利用である。

**Q**この状況は滑川だけでなく全国至る所に出ており国も手をこまねいてるわけにはいかない。国で予算化した時に滑川市が先駆けて取ってくるくらいの準備をしていたきたい。

**A**砂田建設部長 国の空き地・空き家に向けての協議会、県の解体基準のガイドラインを見極めて、旧市街地活性化推進検討委員会で早く策定していくよう努力したい。

### 一般質問



竹原 正 人議員

- 1 子育て支援について
- 2 学校給食について
- 3 コミュニティバス事業について

**Q**高齢者は一律千円でインフルエンザの予防接種を受けることができるが、子どもたちは任意接種で公費負担が無い。経済的負担の軽減を踏まえ、今後、予防接種事業にならないか。

**A**上田市長 インフルエンザ予防接種費用の一部助成について関係機関と協議しながら慎重に検討していきたい。

**Q**子ども医療費助成金について現物給付と償還払いの2種類があるが、利便性が良く簡素に改善できないか。

**A**砂田子ども課長 現物給付を助成できる医療機関を拡大するには、事務作業が膨大になることから現段階では困難である。面倒だが、ご理解いただきたい。

**Q**海洋高校跡地の日工スポーツアカデミーにて「英語で運動！」事業が開催され、市内の園児には好評であった。来年度以降の取り組みは。

**A**熊本企画政策課長 参加施設からのアンケート結果からも非常に好評であったことから、来年度については、より多くの園児に英語に触れ合ってもらうため、開催日数を増やすなど事業規模を拡大したい。

**Q**学校給食について残食を少なくするために、子どもたちに給食をおいしと言ってもらえる子ども目線での取り組みをしているのか。

**A**石川教育長 子どもたちがおいしく給食を食べられるようメニューを工夫し、栄養バランス等も

考えながら日々の給食業務にあたっている。残食率も年々下がっており、子どもたちにおいしく給食を食べてもらっている。

**Q**地産地消、食育の観点から地元生産者に協力をいただいているのか。

**A**石川教育長 地元農業者が直接農産物を学校給食に納入できる取り組みを始め、給食における地元野菜の使用率は31.4%になった。また、農業者の生産意欲の向上や経営の安定にもつながると考える。

**Q**コミュニティバスの新たな車両の購入は。

**A**下野生活環境課長 現状でもかなりの修繕費が必要であり、逐次車両の更新を検討していきたい。

一般質問



谷川 伸 治議員

1 シャンバーグ市との交流について  
2 交流人口増加に伴う宿泊施設について

Q 平成12年以降、シャンバーグ市への訪問が途絶えたのは何か理由があったのか。

A 上田市長 11年間訪問が途絶えた背景には、平成13年9月のアメリカの同時多発テロ事件により海外渡航に対し、危険が伴うとの懸念が一番の理由と思われる。

Q 今後、シャンバーグ市との交流をどのように進めさせていくのか。

A 上田市長 今後は若い人たちがこれからの国際社会に向かって、異文化をしつかり身につける。大きなグローバルな感覚で世界の皆さんと付き合い合っていく。そんな中学生が育つてくれるかという思っている。また経済界も合わせ幅広く交流ができればいいと思っている。

Q 今後、交流対象者は小学校高学年または、中学校低学年に継続して訪問できる機会を与えるべきと考えるが。

A 上田市長 次年度からできる限りやれたらいいと思う。

Q 現在本市の宿泊施設では何人宿泊できるのか。

A 網谷商工水産課長 ホテルサンルート・海老源・海老よし・滑川館・青雲閣・SLハウス・みのわテニス村グリーンハウスの7施設で合計353名である。

Q 各種イベント・スポーツ大会の宿泊状況は。

A 網谷商工水産課長 10月のほたるいかマラソンの参加者で約30名、8月の水橋サッカーフェスティバルの参加者で70名が宿泊した。

Q 各種イベントやスポーツ大会を誘致しても、宿泊施設が現状のままでは宿泊者が増えず本当の活性化にならない。何か対応策はあるのか。

A 網谷商工水産課長 滑川市コンベンション等開催支援補助金の活用、民間活力の参入も視野に入れ、宿泊施設の整備を推進していく。

Q 良質な空き家・空き室の多いアパート等を宿泊施設として活用できないか。

A 網谷商工水産課長 空き家・アパートの活用はさまざまな法的規制があり非常に難しいが、市街地における交流人口の拡大やにぎわいを創出する観点から、官と民との連携も含めて調査研究していく。

一般質問



中川 勲議員

1 通学路の安全対策について  
2 高齢者福祉について  
3 市民に信頼される市職員について  
4 ほたるいかミュージアムの施設管理方針について

Q 東部小学校区、市道北野浜四ツ屋線において、東部小学校の児童100名以上が歩道のないところを歩いているが、歩道の新設はできないのか。

A 上田市長 東部小学校から旧8号線の下、地下道を含め浜四ツ屋、このラインは東部小学校の児童が一番多い通りであり、歩道設置をしなければならぬと思っている。

Q 市道北野浜四ツ屋線における旧8号線地下道に防犯カメラの設置はできないか。

A 岩城建設課主幹 子どもたちの安心・安全を考えると防犯カメラの設置は必要であると考えており、防犯協会や関係機関と協議していく。

Q 2025年に団塊の世代が後期高齢者になる。そのときの高齢者福祉の

対応を今のうちに想定すべきと思うが。

A 藤田福祉介護課長 平成26年度に日常生活圏域ニーズ調査を実施し高齢者の状態像、介護に対するニーズや課題を把握し第6期計画が2025年を見据えた策定とする。

Q 高齢者がいつまでも安心して暮らすには。

A 藤田福祉介護課長 高齢者が健康で生きがいを持ち、生涯にわたり社会を構成する一員として尊重され、能力が低下した場合でも、自助共助公助の適切な組み合わせで生活が維持できる環境を整えられることが望ましい。

Q 市職員が地域の行事に参加し市民との対話をしているのか。

A 岡本総務課長 職員は、市民に信頼されることを目指している。仕事

はもちろん、各地元地区町内、公民館、PTA活動に積極的に参加し、交流の中で情報交換を積極的にするように指導する。

Q ほたるいかミュージアムは平成10年にオープンして15年経過し、今後維持管理費はどのようになるか。

A 網谷商工水産課長 本年度は空調設備、雨漏り修繕等を行った。今後も経年劣化からくる維持修繕費やライブシアターの映像ソフトの更新など維持管理費は増える。

Q 和食が世界無形文化遺産に登録されたが、レストラン光彩の取り組みは。

A 網谷商工水産課長 お客様のニーズに沿った満足いただける和食メニューの充実を図る。

一般質問



1 まちの魅力アッププロジェクトの活動について  
2 新幹線開業に向けての観光振興について  
3 農業の振興について  
原 明議員

Q まちの魅力アッププロジェクトチームから企画提案された事業と、実現に向けた取り組みは。

A 網谷商工水産課長 平成25年3月に20代から40代の職員24名で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、滑川市の魅力を再発見し魅力アップを図る目的で年6回の全体会議を行っており、最終発表ではご当地アプリアクションシステムを活用した飲食店や観光情報の提供、市内飲食店でのキラリン立体型パフェの提供、キラリンを活用した市庁用車の車両ラッピング、キラリン散歩の実施、車両後部に張り付けるセーフティサインの作成などの企画提案が発表され、企画の実現に向けて、予算化も含め取り

組んでいる。

Q 新幹線開業に向けて滑川市内の観光資源の整備が進められていると思うが、滑川市を訪れる観光客の人数と、誘致の取り組みは。

A 網谷商工水産課長 滑川市を訪れた観光客数は、平成23年度が、28万3千100人、平成24年度は28万7千825人となっております。観光客誘致は、ほたるいか海上観光に加え、氷見、射水、滑川をつなぐ対岸のまち交流事業や、古い町並み、宿場回廊めぐりや企業を見学する産業観光などを観光資源として、観光誘致を推進していきたいと考えています。

A 網谷商工水産課長 新川地域内での体験型モデルコースを設定し、モニターツアーを開催したところである。

Q 減反廃止の影響と、農家、農業を守る施策は。

A 膳島農林課長 安心して営農に取り組めるよう、①農業後継者の育成・確保などの基盤づくり②滑川産米の品質向上及び需要拡大③飼料用米、加工用米等の円滑な取り組みや大豆、大麦、園芸作物の生産拡大など、水田の有効利用を推進し県農林振興センター、JAなどと連携しながら農業経営の安定を図っていききたいと考えています。

一般質問



1 福祉について  
2 堀江運動公園について  
開田 晃 江議員

Q 滑川市の紙おむつの支給は介護度4、5だけである。支給拡大について。

A 碓井産業民生部長 他市町村では要介護3というところが多い状況であり、やっていないのは4つ5つの市町村である。前向きな検討をする。

Q 福祉利用券の利用のあり方について、事業主に周知されているか。

A 藤田福祉介護課長 現在、理容、美容券について、中には周知されていない場合があったと思う。そのようなことがないように、また福祉利用券をもらわれた方が円滑に利用できるよう、周知に努めていく。

Q 陸上競技場予定地だった堀江運動公園未利用地の今後の活用計画は。

A 児島まちづくり課長 野球場を中心としたスポーツゾーン及び日本庭園を主体とした親水広場等の11・1ヘクタールが整備されており、未整備部分4・2ヘクタールについては、下水道工事が発生する土砂を有効利用して、新たな公園の計画策定をしていきたい。

Q 熱中症や紫外線防止で猛暑日、雨の日、冬場で体を動かす子どもたちのための屋内施設はどうか。

A 児島まちづくり課長 都市公園内に設置できる施設については制約もあるが、提案の屋内アスレチック場、軽運動室等を備えた施設が設置できるか検討し、参考にする。

Q 日本庭園の中にポータブルトイレが設置されている。たくさんの方が来園する公園で、衛生面を

考えると不適切ではないか。

A 児島まちづくり課長 本格的なトイレについては、下水道が入る時期が間近と聞いており、利用者の皆様には不便だと思いが仮設トイレで対応していきたいと考えている。

Q 公園内の連絡通路に富山地方鉄道の線路があるが、落橋防止対策がとられていない。地鉄の線路のあった場所に市が公園にしたと思うので、滑川市で落橋防止柵をすることはできないか。

A 児島まちづくり課長 鉄橋は富山地方鉄道の所有で、落橋防止工事をする予定はないとのこと。市では週4回巡視を行っている。もう一度地鉄と協議し、検討していく。

一般質問



1 児童館について  
2 スポーツ・健康の森公園について

青山 幸 生議員

Q 児童館建設に向けて骨格となるコンセプトはあるのか。

A 砂田子ども課長 新しい児童館の基本コンセプトは「子どもたちが集い、遊び、学び、元気になる場」「保護者が仲間とふれあい、交流し、元気になる場」「地域住民が、子どもたちと関わり、元気になる場」の3点となった。

Q アンケートで一番多かった内容は何か。またアンケートを踏まえて取り入れたものはあるか。

A 砂田子ども課長 どのような施設があったらいいかとの質問に対しては、保護者の回答は子どもとの回答とともに「運動ができる部屋」であった。また乳幼児専用の部屋が欲しいという声が続く。アンケートを踏まえて、体育館、クッキング



現在の児童館

ルーム、キッズルーム、また図書室、パソコンルームなど取り入れた。

Q 子育て世代への来場者が増える告知(アプローチ)はどうするのか。広報やホームページ、フェイスブック等インターネット媒体や口コミが起りやすくなる方法は考えているか。

A 砂田子ども課長 イベントについては、パンフレット、広報、ホームページ、子育てメールに加え、小中学校と連携

し、子どもたちに直接呼びかけるような仕掛けをしたい。

Q スポーツ・健康の森公園は、今後滑川駅または幹線道路からの動線を考えているか。

A 長井スポーツ・健康の森公園整備室長 道路を使った計画では、北陸自動車道の滑川インターや国道8号、このほか接続する県道、市道からのアクセスを考えている。

Q 地域施設をよりブランド化するには、差別化されたオンリーワンの施設、駅や幹線道路からの動線、物販(スポーツ用品・カフェも含む)の3つの要素が必要だと思っ

A 上田市長 喫茶店とスポーツ用品の販売は考えなければいけない。さらにオンリーワン政策を指したい。

一般質問



1 火災警報器の設置について  
2 コミュニティバスの通年運行について  
3 スポーツ・健康の森公園の使用ルールについて  
4 市営住宅のケーブルテレビの設置について

尾崎 照 雄議員

Q 本年度市内で発生した火災は何件で、そのうち住宅用火災警報器が設置されていた割合はどれくらいか。

A 川崎消防署長 15件発生しておりそのうち住宅火災は6件であり、6件とも住宅用火災警報器は設置されていなかった。

Q 市内で住宅用火災警報器が設置されている割合はどれくらいか。

A 川崎消防署長 平成25年12月現在、設置率は77.3%となっている。

Q 設置確認はどのようにしているのか。

A 川崎消防署長 市内全戸の調査を口頭で設置確認はしたが、住宅の中に入ってまでの確認はしていない。設置の要請だとか取り付け希望があれば消防職員が対応する。

Q 今後、住宅用火災警報器の設置率をどう高めていくのか、その対応、取り組みについて問う。

A 川崎消防署長 消防団と連携して、火災予防運動や自主防災訓練の機会を利用して設置促進に努めてまいりたい。

Q 公共交通機関としてのコミュニティバスの役割を考えた時、通年運行をどうするか。

A 下野生活環境課長 運行については、利用状況や費用対効果等により適切に判断されるものと考えており、今のところ年末年始の運行については考えていない。

Q スポーツ・健康の森公園陸上競技場は、全市民が快適に使うために、最低限守ってもらいたい利用ルールを書いた、わか

りやすい看板を設置してはどうか。

A 長井スポーツ・健康の森公園整備室長 園内のルール看板については現在製作中で、合計3カ所を平成26年1月までに設置する予定である。

Q 市営住宅のケーブルテレビの設置について今後の対応、計画は。

A 児島まじゅり課長 市営住宅においてもケーブルテレビを視聴できるような環境を整える必要性はあると考えている。しかし、多額の経費を要することなどから、早急な対応は難しいと考えている。1棟というか1地区ごとに順次検討していかなくてはいけないと思っ

ている。

その他の質問事項  
Q 除雪ボランティアについて

### 一般質問



水野 達 夫議員

- 1 滑川市の都市計画について
- 2 協働のまちづくりについて
- 3 養鶏場建設計画の現状と水源地の保護について

**Q**平成18年度から3カ年

かけて実施した都市計画道路の見直しにおいて、吾妻町加島町の事業化の見直しはどうか。

**A**砂田建設部長 地元及び県の協力、緊急性、費用対効果など、議会の意見も参考にして今後検討していきたい。

**Q**新都市計画マスタープランを今策定すべきだと思いがどうか。

**A**砂田建設部長 現在策定中の都市計画基礎調査等をもとに、人口減少・少子高齢化などの将来予想を踏まえたうえで策定してまいりたい。

**Q**第4次総合計画の重点プロジェクトにも掲げられている「協働を推進するための組織・機構の整備」「協働のまちづくり指針の策定」についての考えはどうか。

**A**熊本企画政策課長 現在も検討を継続している。

**Q**地域ぐるみ除排雪活動の推進について、協働の観点からソフト部門での支援策として、除排雪体制の仕組みづくりが必要ではないか。

**A**藤田福祉介護課長 現在、地域ぐるみの協働により対応していただいております。引き続きご協力いただきたいと思います。

**A**石坂上下水道課長 去る10月に公共用水源12カ所について県へ指定候補地として推薦したところ

あり、引き続きご協力いただきたいと思います。企業に対する協力依頼など他自治体の対策の調査も進め、どのような対策がとれるか、さらに検討してまいりたい。

**Q**6月議会で確認した以降、養鶏場建設計画について新しい動きはあるのか。

**A**下野生活環境課長 その後、県へ相談等に行っており、鳥インフルエン

ザ対策の図面等の提示を求められていると聞いている。

**Q**富山県水源地域保全条例に基づき、上水道の水源地を水源地域に指定してもらえよう要望していると聞いている。現時点での県での考え方はどうか。

である。養鶏場建設予定地と比較的距離が近い第1水源地も含まれており、現地調査も実施されたところである。範囲を定めるにあたり、複数の市町にまたがり、指定済みの森林を多く含むことや地元の意向など勘案して、県において検討が行われているところである。

る。

### 一般質問



浦田 竹 昭議員

- 1 命の大切さを学ぶ教室の実施について
- 2 農業を取り巻く諸課題について
- 3 中山間地域のインフラ整備について

**Q**いじめや交通事故における被害者支援の観点から、子どものころから被害者も加害者も出さないような社会に向けての醸成教育として、各中学校

においての「命の大切さを学ぶ教室」の開設について見解を問う。

**A**坂口学務課長 命の大切さだけでなく、思いやり

の心を育てることを含めて、道徳の授業等教育活動全体を通し様々な取り組みを行っている一環として、「命の大切さを学ぶ教室」について、検討していききたいと考えている。

**Q**農地標準賃借料の算定並びに算定プロセスについて、見直しが必要と思うが、見解を問う。

**A**膳島農林課長 制度改正などにより、算定による単価・数値に影響が生じる場合、修正をかけて

いきたいと考えている。

**Q**中山間地域のインフラ・道路整備の現状と進捗並びに今後の予定について、次の4点について問う。

- ①養輪地内への東部山麓道路（早月川左岸道路）の道路改良について。
- ②上大浦地内の虎谷大榎線の道路拡幅改良について。
- ③開地内の養輪滑川インター線の現道拡幅・歩道設置道路改良について。
- ④田林、東福寺野地内の滑川自然公園線の現道拡幅道路改良について。

**A**岩城建設課主幹 ①東部山麓道路については、区間延長2・5キロメートル、幅員11メートルで整備計画され、下流側約1・2キロメートルは現在盛り土工事が完了し、今後、調査測量の実施、河川協議から順次盛り土

仕事を進める。  
②虎谷大榎線については、上大浦地内で延長約410メートル、幅員10メートルで整備計画され、用地測量、境界立会等が終了し、平成26年秋頃から順次水路工事等を進める。

③養輪滑川インター線については、開地内で延長約440メートル、幅員10・5メートルで整備計画され、用地測量が終了し、地権者との協議が整い次第、順次工事を進める。

④滑川自然公園線については、田林地内で延長約460メートル、幅員10・5メートルで整備計画され、用地測量を実施し、地権者との協議を進める。

る。

一般質問



1 介護保険について  
2 防災について

角川 真人 議員

Q 滑川市では要介護4以上の方へおむつ購入費助成を行っている。前日の答弁の中でその対象を拡大にむけて検討するという答弁があった。確認させていただく。また要介護4以上の方が440名程に対し制度利用者が88名というのは少なく感じるがどう考えているか。

A 藤田福祉介護課長 おむつ購入費の支給対象及び支給額の見直しについて前向きに検討する。現在の88名というのは今後増えていくことも含め適當と考えている。  
Q オレンジサロンという介護をしている人の交流会を毎月で実施しているのを毎月に行えないか。また周囲の目を気にされる人のため介護施設以外で行うことができないか。

A 藤田福祉介護課長 オレンジサロンは年4回から6回に拡大している。実施場所は介護者が安心して参加できるように、ミニデイサービスが実施できる施設を選定している。男性介護者の交流会は27名の参加であり平成26年度も予定している。  
Q 滑川市において若年性認知症の実態を把握しているか。  
A 藤田福祉介護課長 若年性認知症による要介護申請者は6名であるが、申請や相談のない方については把握できていない。  
Q 在宅介護では食事や排せつの手間が増え、外出する暇がなくなったり思

委員会

12月定例会の委員会の審査から

12月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教委員会

- ◆ 審査議案は14議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。
- ▼ 議案第84号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第3号)
- ◆ 議案第88号 行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第89号 滑川市民会館条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第91号 滑川市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第98号 滑川市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第102号 滑川市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第108号 滑川市立博物館条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第109号 滑川市東福寺野自然公園研修センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第110号 滑川市総合体育センター条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第111号 滑川市みのわテニス村設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第112号 滑川市体育施設条例の一部

民生環境委員会

- ◆ 審査議案は10議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。
- ▼ 議案第84号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第3号)
- ▼ 議案第85号 平成25年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼ 議案第86号 滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆ 議案第90号 滑川市民交流プラザ条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第97号 滑川市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第99号 滑川市ゲートボール場条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第100号 滑川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第114号 滑川市衛生センター条例を廃止する条例の制定について
- ◆ 議案第116号 富山地域衛生組合の解散に伴う財産処分について
- ◆ 議案第117号 富山地域衛生組合の解散に

産業建設委員会

- ◆ 審査議案は13議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。



- ◆ 議案第84号 平成25年度滑川市一般会計補正予算（第3号）
- ▼ 議案第87号 平成25年度滑川市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ◆ 議案第92号 滑川市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第93号 滑川市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第94号 滑川市産業研修センター条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第95号 滑川市勤労身体障害者教養文化体育施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第96号 滑川市海洋深層水分水施設条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第101号 滑川市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第103号 滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第104号 滑川市東福寺野自然公園条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第105号 滑川市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第106号 滑川市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- ◆ 議案第107号 滑川市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

### 特別委員会

#### ◆ 並行在来線等問題特別委員会

◎ 11月5日、滑川市以東（滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町）及び新潟県糸魚川市の4市2町の議長と並行在来線を所管する委員会の委員長が、富山県庁を訪問し、並行在来線の運営に関する要望書を提出しました。

安全性の確保や県境をまたぐ運行等の利便性の確保などのほか、本市から、JR西日本の富山―金沢間の新幹線シャトル運行により、あいの風とやま鉄道株式会社が発行する等が不利にならないように配慮する、という内容を追加して要望しました。

#### ◆ 公共施設のあり方検討特別委員会

◎ 1月23日、1回目の協議会が開催され、設置の趣旨（厳しい財政状況や少子高齢時代に対応するため、滑川市が所有する公共施設の更新・統廃合・長寿命化など計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図るため、今後の公共施設のあり方について検証し提言する。）を再確認した後、「公設民営化」、「指定管理者制度」、「維持管理費の妥当性」など、今後の取り組みについて協議しました。

### キラリンのひとくちメモ



第3回は、誌面の都合上、お休みいたします。

### 議会放送と録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル（アナログは8チャンネル）で、生放送及び録画放送を実施しております。

次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報（3月号）・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



### 議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話 475-21111（内線371）  
議会報編集委員  
高橋久光委員長 谷川伸治副委員長  
角川真人委員 竹原正人委員  
尾崎照雄委員 中島 勲委員

## 12月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

### 件名及び提出者

### 処理結果

#### ① 議員提出議案（7件）

- |   |            |  |                |
|---|------------|--|----------------|
| 1 | 議員提出議案第14号 | 要支援者への予防給付（訪問介護・通所介護）を介護給付として継続することに関する意見書 | ..... 本会議結果＝可決 |
|   | 滑川市議会議員    | 高橋久光 外5名                                   |                |
| 2 | 議員提出議案第15号 | 索道事業に係る軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書              | ..... 本会議結果＝可決 |
|   | 滑川市議会議員    | 高橋久光 外5名                                   |                |
| 3 | 議員提出議案第16号 | 障害者の補装具費支給制度の抜本改正を求める意見書                   | ..... 本会議結果＝可決 |
|   | 滑川市議会議員    | 高橋久光 外5名                                   |                |

- 4 議員提出議案第17号 「手話言語法」制定を求める意見書  
 ..... 本会議結果=可決  
 滑川市議会議員 中 川 勲 外5名
- 5 議員提出議案第18号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書  
 ..... 本会議結果=可決  
 滑川市議会議員 中 川 勲 外5名
- 6 議員提出議案第19号 米の生産調整廃止に関する意見書  
 ..... 本会議結果=可決  
 滑川市議会議員 中 川 勲 外5名
- 7 議員提出議案第20号 特定秘密保護法の廃止を求める意見書  
 ..... 本会議結果=否決  
 滑川市議会議員 古 沢 利 之 外1名

② 意見書提出要請（7件）

- 1 要支援者への予防給付（訪問介護・通所介護）を介護給付として継続することに関する意見書  
 ..... 議会運営委員会一致  
 公益社団法人 認知症の人と家族の会 富山県支部 代表 村 井 和 恵 (議員提出議案第14号へ)
- 2 索道事業に係る軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書..... 議会運営委員会一致  
 自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第15号へ)
- 3 障害者の補装具費支給制度の抜本改正を求める意見書..... 議会運営委員会一致  
 自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第16号へ)
- 4 「手話言語法」制定を求める意見書 ..... 議会運営委員会一致  
 自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第17号へ)
- 5 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書..... 議会運営委員会一致  
 自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第18号へ)
- 6 米の生産調整廃止に関する意見書..... 議会運営委員会一致  
 自由民主党滑川市議会議員団 代表 高 橋 久 光 (議員提出議案第19号へ)
- 7 特定秘密保護法案の廃案を求める意見書..... 議会運営委員会不一致  
 秘密保護法案に反対するアピール呼びかけ人代表 土 井 由 三 外3名 (議員提出議案第20号へ)

③ 要望書（4件）

- 1 建築士事務所の健全な発展により建築文化の向上を図るための要望書..... 全議員へ参考配付  
 一般社団法人日本建築士事務所協会連合会 会長 三 栖 邦 博 外1団体
- 2 要望書（公共施設等における木材の利用促進について）..... 全議員へ参考配付  
 富山県木材組合連合会 会長 西 村 亮 彦 外3団体
- 3 要望書（一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について等）..... 全議員へ参考配付  
 日本環境保全協会 会長 宇田川 育 夫 外2団体
- 4 精神障がい者の施設充実に関する要望書..... 全議員へ参考配付  
 つるぎの里家族会 会長 岡 部 清 文 外1団体

12月定例会での本会議の結果について

議案内容等

採決結果

- ◎議案第84号～議案第118号 ..... 原案可決（賛成全員）  
 平成25年度滑川市一般会計補正予算（第3号）外34件
- ◎議員提出議案第14号～議員提出議案第19号..... 原案可決（賛成全員）  
 要支援者への予防給付（訪問介護・通所介護）を介護給付として継続することに関する意見書  
 外5件
- ◎議員提出議案第20号..... 原案否決（賛成少数）  
 特定秘密保護法の廃止を求める意見書

賛成者=角川・水野・古沢  
 反対者=青山・竹原・尾崎・谷川・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋